

TOYOTA MARINE PONAM-35sw TVAS 実釣インプレッション

キャビンクルーザーで本格的な釣りが楽しめる。
ハイテクノロジー TVAS
トヨタバーチャルアンカーシステム。
今回は実際にこの機能を使って甘鯛を
狙ってみる事にした。



TVASとは?

TVAS(トヨタバーチャルアンカーシステム)は自動で船体の位置や方位を保持する事を可能にした、操船支援システム。状況に応じた設定を行えば、コンピュータが位置、風、潮流を判断して、正確な制御を行ってくれる。これがあれば35フィートのクルーザーでも狙ったポイントを正確に流れながら釣りを楽しむ事が出来るのである。



◆バーチャルアンカーモード



バーチャルアンカーモードはGPSにより船体の位置を検出し、コンピュータ制御で同じ位置をキープし続けることのできる機能だ。遊漁船が徐々に流されていくのに対して、ポナム35swは同じ位置をキープしているのが良くわかる。また、潮流や風が変化しても船首を流される方向とは逆に自動で向けてくれる。

◆バーチャルスパンカーモード



バーチャルスパンカーモードは船体自体が風向きを感知するシステムを採用しており、船首が常に風の方向に向くよう自動で制御してくれる機能だ。更に、流される速度を風や潮流に合わせてコントロールすることも出来るので、スパンカーを立てた遊漁船と同じようにポナム35swを移動させる事が出来るのである。



航海計器画面。電子パネルでポートの状態を一目で把握する事が出来る。

バーチャルアンカーモード。キープしたい位置の緯度・経度が表示されている。

バーチャルスパンカーモード。船首方位に加え、流される速度も表示している。

バーチャルコンパスモード。向きたい方向と今の方位を比較して表示している。



TVASを使えばアンカーやスパンカーを準備する時間も省けてしまう。



相模湾での釣りを知り尽くした石崎氏。適確なレクチャーには定評がある。



ポイント到着後に釣りスタート。自分の決めたポイントを狙い打ち出来る。

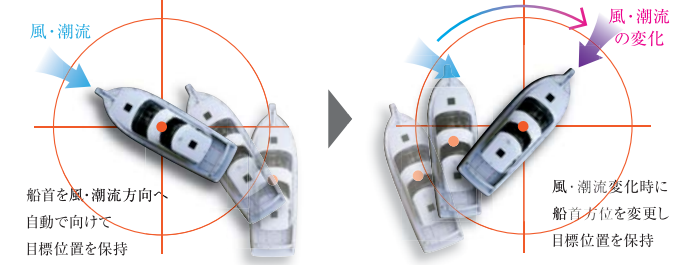


自分の思う様にポートが動いてくれるので、その分釣りに集中する事が出来る。



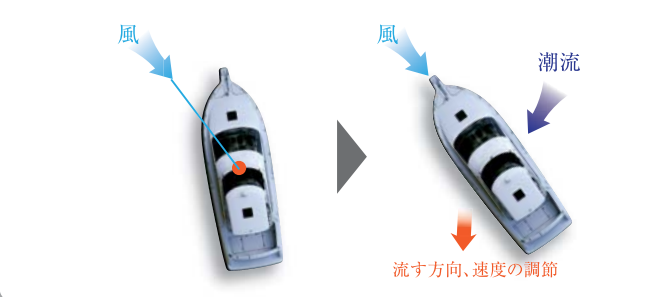
▶バーチャル アンカー モード

最大の特徴は、アンカーを打たずに位置を保持できること。GPSにより船体位置を検出し、コンピュータ制御で一定の位置に船体を保持します。また、船首を風や潮流で流される方向とは逆に向けるので、エンジンの回転数をムダに上げることなく、低推力、低燃費、低騒音で船体を元の位置に戻します。さらに風や潮流が変わっても船首を向けながら、船体を元の位置に戻します。このシステムにより、実際にアンカーが打てないような場所でもポジションをキープできます。



▶バーチャル スパンカー モード

船体自体が風向きを感知する新システムを採用。これにより、船首が風の方向に向くように自動で制御します。また、流される方向や速度を風や潮流に合わせてコントロールすることもできるので、わずらわしい操船作業を行うことなく、快適に流し釣りが楽しめます。



TVASの機能等は前ページを読んで頂ければ分かってもらえたと思う。では、実際に海の上でどんなパフォーマンスを見せてくれるのかを確認すべく、ポーナム35でTVASを使った釣りをしてみる事にした。ポイントは相模湾の江ノ島沖合。狙いは甘鯛。回遊魚とは違い砂泥地に巣穴を作って巣穴から頭だけを出して近づいてきた餌を捕食する。そんな甘鯛がこの時期の相模湾には点在している。漁師に言わせると一匹一穴とのこと。よって甘鯛釣りは船を流しながら甘鯛を探していく典型的な流し釣りなのだ。まさにフィッシングボートが得意とする釣りで、キャビクルーザーでは誰もが首を傾げてしまう。なぜなら、スパンカーも着いておらず、フライングブリッジ等が風をまともに受けてしまい一瞬で流されてしまうのだ。それではこまめにポイントを探る事は非常に難しい。キャビクルーザーのオーナーなら誰もが経験をし理解して頂けるであろう。ポイントに到着後、実際にTVASを使っての釣りが始まった。まず始めに紹介するのはバーチャルアンカーモードで船をポイントにキープすることだ。魚探で魚を探し、魚影を発見した時にスイッチを入れポイントをキープする事が出来れば、釣りの用意をゆっくりしていても、魚がいる場所に仕掛けを落とす事が出来る。本来なら、魚影を見つけて当然バック等を入れて船を止め、仕掛



- ◆Special Thanks
トヨタマリン
www.toyota.co.jp/marine/
逗子マリーナ
www.riviera-r.jp/zushi-marina/
- ◆Marine consultant
古屋佳也
- ◆Fishing Instructor
石崎 浩
- ◆Fishing Girls
井上美和、井駒 彩
- ◆Photo
山田真人、石川三紘
- ◆Text
石川三紘



彩ちゃんは右舷側、美和ちゃんは左舷側から仕掛けを流す。TVASを使用する事で、アンカーやスパンカーを立てずとも、両サイドで釣りを楽しむ事が出来る。

けを入れるのだが、用意をしている間に船が流されてしまい魚探に反応が出た所には仕掛けが落ちていない事が多い。このバーチャルアンカーモードを使えばポイントキープが簡単に出来てしまう。実際に今回もフィッシングインストラクターの石崎さんが「この辺がいいですよ」と行った場所でバーチャルアンカーモードのスイッチを入れ、船をポイントにキープし、餌を付けたり電動リールの用意をしたりと竿を出すまでに時間が掛かってしまったのだが、彩ちゃんが仕掛けを入れた第一投で、なんと甘鯛ダブルヒット!!取材クルーが驚く効果を見せてくれた。そこから、次は船を流しながら甘鯛を探していく事にし、バーチャルスパンカーモードに切り替え流し釣りを開始する。するとまたしても彩ちゃんが三匹目を見事に釣り上げた。この時点でTVASに関係者全員が二重丸を付けた事は言うまでもない。このバーチャルスパンカーモードの凄いいところはいくつもあるが、何と言っても凄いのが潮の流れや風向を考えながら操作すれば、メカニカルに魚釣りが楽しめる凄く頼りになるモードなのである。また、船が上手く流れる事で2人のアングラーは糸の絡みを心配する事なく安心して釣りに集中する事が出来るのだ。その調子で釣りを進めていくと今度は釣りガールの美和ちゃんにもヒットが!引きの違いに首を傾げると、上がった魚はヒラメ!ポイントが幅広く探れている証拠なのではないだろうか!まさに釣れたではなく、釣ったのである。ある程度流したら初めにヒットしたポイントまで戻る。そして、バーチャルアンカーモードで船を落ち着かせ支度をし、仕掛けを海に落とす。そこから、バーチャルスパンカーモードに切り替え流し釣りを楽しむ。すると、またしても型のいい甘鯛が釣れたのだ。結局、一時間程で甘鯛数匹とヒラメをゲット。TVASはそのシステムの実力をまざまざと見せつけてくれたのである。実際に釣りをしてみて、確かにここまでは簡単にスイッチを入れると言っているが、風や潮を考慮しながらの操作をすれば、これだけ船が思い通りに動いてくれて、キャビクルーザーでの釣りもかなり魅力的だと言える。当然ポイントまでの移動は快適なキャビンで準備をし、よけいな風や寒さを考えなくても良いのである。まさに夢のフィッシングスタイルなのではないだろうか。そんな機能を搭載しているポーナム35に興味がない訳がない。今このポーナム35が売れている理由が実感出来た1日となった。



TVASのお陰で女性2人も釣りをとって楽しめた様子!!石崎氏の狙ったポイントでポーナム35swで正確に攻める事が出来たのも爆釣の要因だ!!

PONAM-35sw

全長:11.95m 全幅:3.94m 総トン数:10トン
エンジン型式:M1VD-VH エンジン出力:370PS×2基
燃料タンク容量:850L 清水タンク容量:170L
定員:12名(FB5名) 航行区域:沿海
ヘルムステーション:1 インテリアカラー:木目調

Price:62,790,000円(税込)